

SR8000/MPP 超並列ジョブ (128 ノード) 実行サービス開始について

システム運用掛

SR8000/MPP では 2001 年 10 月より毎月 (1 月を除く) 第一週の週末に 128 ノードジョブ実行の試行運用を行ってまいりましたが、来年度も大規模バッチジョブの利用が見込まれるため、2002 年 4 月から正式運用としてサービスを開始します。

通常運用構成における並列ジョブは最大 16 ノード (128 プロセッサ) ですが、本サービスでは 128 ノード (1024 プロセッサ) 使用可能なバッチジョブ環境を提供します。超並列ジョブクラス P128 (キューP128) には、以下のシステム資源を割り当てます。

	超並列ジョブクラス	通常のジョブクラス
バッチキュー名	P128	P001~ P016
ノード数 (プロセッサ数)	128 (1024)	1~ 16 (8~ 128)
理論演算性能	約 1.8TFLOPS	約 14~ 230GFLOPS
主記憶容量*	2TB	16~ 256GB
実行時間制限 (ETIME)	1 時間	64~ 4 時間
ジョブの投入方法	#@\$-q parallel #@\$-N 128	#@\$-q parallel #@\$-N 16 (P016 の場合)

*ユーザープログラムで使用できるメモリーの大きさはノード当たり 13.5GB です。

本サービスは原則として

毎月 1 回、第一週の金曜日 (休日の場合は前日) 19:00 ~ 月曜日 (同翌日) 8:30 に実施します。但し、メンテナンス作業等により日程やサービス時間が変更となる場合がありますので詳細はログインメッセージにて御確認下さい。(期間の前後 1 時間程度は運用構成切り替えのため、システムの再起動を行います。) なお、実施期間中はシステム構成が変更となるため、一部のサービスが休止となります。

利用可能なサービス

インタラクティブ処理用サブシステム mpp-s.cc.u-tokyo.ac.jp
スカラージョブクラス A~F
並列ジョブクラス P001~P004、P128

サービス休止 (newuser 手続きも休止)

インタラクティブ処理用サブシステム mpp-p.cc.u-tokyo.ac.jp
拡張記憶 (ES) 使用ジョブクラス A-ES~F-ES
並列ジョブクラス P008、P016

P128 キューの利用は、基本負担金コースに 10,000 円コースを設定している利用者を対象 (基本負担金コースは「大型計算機システム届出書」にて変更できます。総合受付 03-5841-2716 までお問い合わせ下さい。) とし、当面は P128 キューのジョブ実行に要した CPU 課金を無料としますので是非御利用下さい。但し、利用状況によっては今後、課金又は利用登録制の導入、実行可能ジョブ数の制限、ジョブリソース公開等を行う場合があります。なお、サービス内容に変更がある場合にはスーパーコンピューティングニュース、show-info コマンド又は Web ページ <http://www.cc.u-tokyo.ac.jp> にてお知らせしますので御確認下さい。